

## 部門紹介

### 薬剤科

谷保薬剤長



#### ■迅速・正確・丁寧に

薬剤科では、医師が発行した処方せんに基づき、迅速かつ正確に調剤を行っています。

私たち薬剤師は、薬の量や使い方が適切かどうか、薬の組み合わせに不都合がないかどうかなどをチェックし、疑義があれば必ず医師に確認しています。また、窓口では丁寧かつ分かりやすく説明を行っています。

#### ■病棟での服薬指導

入院患者様については、1日でも早く家庭や社会へ復帰できるよう、医師や看護師との連携を密にして、各患者様の症状に対応した服薬指導を行っています。薬の効用や服薬中の注意点、患者様の疑問点などについて、ベッドサイドで丁寧かつ分かりやすく説明し、十分に納得していただいたらうえで薬を服用していただいている。

#### ■院外処方のお願い

処方せんには薬名や分量、用法などが記載されています。平日の午前8時半から午後5時までの外来患者様については、原則として院外処方を行っています。

自分の都合のよい時間に自宅や職場付近の薬局で薬を受け取ることができるほか、かかりつけの薬局を決めておくことで、他の病院の薬との飲み合わせによる副作用などを防ぐことができます。

### 検査科

山下検査長



検査科では多種多様な検査を行っています。

#### ■血液検査

赤血球や白血球の数や形などから、貧血、腎不全、白血病、感染症などについて調べます。

#### ■生化学検査

血液中の蛋白質、糖質、酵素などの成分を検査して、肝炎、脂肪肝、糖尿病、脂質異常症などを調べます。

#### ■免疫・感染症検査

抗原（ウイルス・細菌など）や感染によってできた血液中の抗体の有無を調べる検査で、肝炎、インフルエンザなどの各種感染症を診断します。

#### ■細菌検査

感染を受けた臓器の分泌液や血液などから、病気の原因となっている細菌を検出し、食中毒、肺炎、結核、敗血症などについて判定します。

#### ■生理検査

心電図、脳波、肺機能検査、心エコー、腹部エコーなどにより各部位の状態を調べます。

#### ■輸血検査

輸血事故や輸血副作用を防止し、安全な輸血を行うための重要な検査です。

これらの臨床検査を組み合わせることで、より精度の高い診断が可能となります。

私たち検査科では、総勢13名の臨床検査技師が交替で24時間365日、休むことのない舟入病院を支えています。

広島市立舟入病院



#### ■治験

また、薬剤科は治験事務局として、治験の窓口となっています。

治験とは、医薬品や医療機器の製造販売を承認するために行われる臨床試験のことです。厚生労働省が定めたルールに従って実施され、被験者の人権と安全性に問題がないかどうかなどを審査する治験審査委員会を設置し、将来の人々のための新薬の開発に貢献しています。

薬に関してお聞きになりたいことがあれば、いつでもお気軽にご相談ください。

### 放射線科

小林技師長



十分な説明を行い、不安なく検査を受けていただけるよう、優しく心のこもった対応を心がけています。

放射線科で行っている検査の一部を紹介します。

#### ■CT検査

高速スキャンが可能な16列型マルチスライスCT装置を導入しており、十数秒で首から下腹部まで撮影できます。様々な角度から撮影できるため、死角がほとんどありません。内臓脂肪面積も解析でき、メタボリックシンドロームの診断もできます。

#### ■MRI検査

放射性同位元素を含む薬品を血管内に注射し、特定の臓器や組織に取り込まれた薬品から放出される放射線の量をガンマカメラという装置を用いて計測し、コンピュータ処理をして画像を作成します。薬品により取り込まれる臓器や組織が異なり、それぞれ骨、脳、甲状腺、肺、心臓、肝臓、腎臓などの状態を調べることができます。

#### ■骨密度検査

医学の進歩により、骨粗しょう症の予防や治療ができるようになりました。骨密度測定装置による検査は10分以内で終わります。横たわっているだけで高精度の測定ができます。運動不足を感じている方は、一度、骨密度検査を受けてみてはいかがでしょうか。

## 認定看護師

私たち  
こんなこと しています

相談

指導

実践

認定看護師とは、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる看護師のことです。

看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりと質の向上を図ります。

現在、認定看護には19分野あります。その内、舟入病院には2分野の認定看護師がいます。

### 小児救急看護認定看護師

森 麻美

お子様が夜間急に熱を出し、どうしたらよいのか分からず、不安を感じたことはありませんか。このような不安を抱いておられるご家族の皆様が、家庭においてお子様のケアを安心して行うことができるよう支援したいと考えています。

小児救急看護認定看護師として私の役割は、小児救急に関する知識・技術を活用し救急現場で対応するほか、病院スタッフに対する指導や困ったときの相談に応じることです。また、地域活動として、「こんなときどうする？家庭でできること」をテーマに、乳幼児にあこりやすい事故と病気、その対処方法についての講座を、地域の公民館と協賛し開講しています。

お子様の病気や育児に関してお困りなことがありますれば、一人で悩まずお気軽にご相談ください。

●リーフレット『熱がでたときどうしたらいいの？』を小児科外来で配布しています。

●情報誌『こども通信』を舟入病院のホームページからご覧いただけます。

『子ども通信』アクセス：舟入病院HP（新版）→診療科等案内→看護部門→関連情報 外来→子ども通信

### 業務員紹介

病室の清掃やシーツ交換などの環境整備、入院患者様への配膳などが業務員の主な仕事です。

「自分が入院したとき、気持のよい病院だなと思えるように、ベッド周囲の清掃、壁の汚れ、シーツがしわにならないかなど、細かなことまで気

を配りながら仕事をしています」と新保業務員。医師や看護師と同様、患者様の立場に立って仕事をするという気持ちを忘れずに仕事に励んでいます。

病院には医師や看護師などの医療専門職以外に、業務員や事務職員、給食調理員、警備員など、様々な職種の人たちがいます。みんなが協力し合いながら、皆さんの命を守っています。



### 皮膚・排泄ケア認定看護師

宮原久美江

皮膚・排泄ケア認定看護師の役割は、医師と一緒に進行する褥瘡をはじめとした様々な傷のケア、人工肛門を作る方にに対する手術前からの社会復帰に向けたリハビリテーション、便秘や下痢・尿漏れなど排泄障害でお困りの方へのケアなど、スキンケアを中心とした看護実践と、病院スタッフへの指導です。

当院では、院内の褥瘡患者様へ週1回の褥瘡回診を実施して適切な治療的ケアを提供しています。また、褥瘡発生のリスクがある患者様に対して、適切な予防的ケアを提供できるよう病院スタッフへ指導を行っています。同時に、栄養障害のある入院患者様への栄養回診も実施し、栄養計画を作成して病気の快復を促しています。

そのほか、人工肛門造設患者様のケアや、失禁患者様の肛門部のスキントラブルなどのケアの相談も受けています。

活動は院内だけでなく、「家庭でできるスキンケア」と題した出前講座も実施しています。スキンケアに関してお困りのことがあれば、気軽にご相談ください。